

兵庫県加東郡滝野町方言の否定の表現

黒崎 良昭

I. はじめに

1. 調査対象地：加東郡滝野町は兵庫県南部のほぼ中央にあり、加古川の中流域に位置する。中国自動車道を利用すれば、町南東部の滝野・社インターチェンジから大阪の中心部まで約1時間という便利さから、町内に大規模な工業団地ができ、マンションや戸建住宅が急増し、農地が激減している。その結果、周辺の市町が過疎化を見せているにもかかわらず人口は漸増し、現在の人口は1万人余りである。
2. 調査年月日：1994年11月25日19時～21時
3. 話者：梶原ちずゑ 大正15年6月20日生（68歳）
4. 調査者・調査場所：黒崎 良昭、話者自宅
5. 調査方法：統一調査票による質問調査。事前に調査用紙を渡し、回答を準備してもらった。
6. その他：①話者は元小学校教師で、調査者とは旧知の仲である。話者は職業柄、言語感覚に優れており、調査者も当該方言を生活語にしているのので、互いの語感を大切にし、一項一項じっくり話し合いながら調査を進めた。②*以下は説明・解釈。回答についての話者の説明は（ ）で括り、調査者の解釈は< >で括った。

II. 調査結果

I 動作・作用の否定表現

1. 雨が降りそうだから、今日はどこへも行かない。 ○アメガ フリソーヤサカイ キョーワ ドッコモ {①イカヘン。②イケヘン。}
*（「イカヘン」「イケヘン」ともに同程度使う。両者に表現性の差異は感じられない。）
2. 今日は、雨は降らないよ。 ○キョーワ アメワ {①フラヘン②フラン} オモウ デー。
*（「フラン」は男性言葉でやや古めかしい言い方。「フランヤロー」とも言う。）
3. 今日はどこへも行きません。 ○キョーワ ドコモ イカントコ オモトリマス。
*（「トコ」に続く場合には、「セントコ」（しないでおこう）、「カカントコ」（書かないでおこう）などのように「～ン+トコ」の形が一般的である。）
4. 今日はどこへも行きはしない。 ○キョーワ ドッコモ イカントコ オモトリマス。
*（「ドッコモ」が強調部分である。）
5. 先生は、今日、どこへもいらっしゃらない。（～行かれない。） ○センセーワ キョー ドコエモ {①イテヤ ナイ。②イテヤ ナイ イヨクタク デー。}
*<いわゆるテヤ敬語である。「イッテヤ」の促音が脱落して「イテヤ」となっている。>
*（①の言い切りの形はきつく響くので、②のような形になることが多い。）

6. 今日はどこへも行ななかなった。()キョーワ ドコエモ イカヘナナダ。
 * (この他、比較的古い言い方として「イカナナダ」、新しい言い方として「イカヘナナカッタ」がある。また、過去形ではないが過去の事実を表す「イカズヤ」もよく用いられる。)
- * <「ナナダ」は打消過去・打消完了の助動詞。「ナカッタ」の音の転じたものと考えられる。「全部ワ書ケナダ。」「泳ゲナダ日モアッタ。」などと使われる。終止形・連体形「ナダ」のほか、仮定形「ナダラ」があり、「行カナダラヨカッタ。」などと用いられる。「イカヘナダ」は「イキワセナダ>イキャセナダ>イカセナダ>イカヘナダ」という変化の過程があったものと考えられる。また、「行なななった」の意で、「イカヘナナダ」「イカヘナナカッタ」などという表現も見られる。これらは「ヘン+ナダ」「ヘン+ナカッタ」と二重否定の形になっているが、使用者にはその意識はなく、単なる過去の打消として用いられている。>
7. 今日はどこへも行きはしななかなった。○キョーワ ドッコモ イカヘナダ。
 * (前項の②~④のようにも言える。「ドコモ」が強調部分である。)
8. 雨が降りそうだから、今日はどこへも行くまい。○アメガ フリソーヤサカイ、キョーワ ドコエモ イカントコ。
 * (ごく高齢の人からは「イコマイ」も聞くことがある。)
9. 雨が降りそうだから、今日はどこへも出まい。○アメガ フリソーヤサカイ、キョーワ ドコエモ デントコ。
 * (上記同様、ごく高齢の人からは「デヨマイ」も聞くことがある。)
10. 今日は何もすまい。()キョーワ ナンニモ ショーマイ。
 * (このほか、古い言い方として「ショマイ」、新しい言い方として「セントコ」があり、中年以下は主に「セントコ」を使う。)
11. 今日はたぶん雨は降らないだらう。○キョーワ タブン アメワ フラヘンヤロ。
 * (「フルマイ」「フランヤロ」「フラヘンヤロ」の順に新しくなる。これらは降らないことになりに強い確信を持った表現で、「フラヘンノント チャウ カー」「フラヘン オモウ デー」とあれば、不確かな推測になる。)
12. 明日はきつと雨が降るにちがいない。○アシタワ キツト アメヤ デー。
 * (「アメガ フリリヤロ。」とも言うが、「アメヤ デー」に比べて少し不確かな推測を表す。また、「フルント チャウ カー (新)」という表現もよく使われるが、これは不確かな推測を表し、「キツト」または「ゼッタイ」とは共存しない。)
13. 今日は誰も来ない。()キョーワ ダレモ キヤヘン。
 * (昔、高岡(近村)の人が「キーヒン」を使っていた。現在、若い人の間で「キーヒン」「コーヘン」がよく聞かれる。)

14. 今日は誰も来はしない。()キョーワ ダーレモ キヤヘン デー。
* (「ダーレモ」と長音化することによって強め、「デー」で念を押す。)
15. 今日は誰も来なかった。キョーワ グレモ コナング。
* (「コナング」は中年以上の言葉で、「キヤヘナング」が少し若く、若い層は「キーヒンカッタ」「コーヘンカッタ」を使う。)
16. 今日は誰も見ない。()キョーワ ダーレモ ミカケヘン ナー。
* (「ミヤヘン」も使う。若い層は「ミーヒン」を使う。)
17. 今日は誰も居ない。()キョーワ グレモ オラヘン。
* (昔、高岡(近村)の人が「イーヒン」を使っていた。現在の若い人も使っている。神戸(市)の人は「イテヘン」を使う。)
18. どこへも行かずにうちにいる。()ドッコモ イカント エーニ オル。
* <「家」は「エー」、「川・皮」は「カー」などと長音化される。>
19. わざわざ行かなくてもよい。()ワザワザ イカイデモ エー。
* (中年以下の方は「イカンカテ・イカンドエモ」を使う。)
20. わざわざ行かなければよかった。○(アタ シンドイ。コンナンヤッタラ)ワザワザ イカナンダラ ヨカッタ。
* (「イカントイタラ」「イカヘンカッタラ」の順に新しい言い方になる。)
21. どうしても行かねばならない。()ドナイシテモ イカナ ショガナイ。
* (「イカナ」の部分「イカント」、「ショガナイ」の部分「シャーナイ」または「イカン(アカン)」とも表現され、相互に入れ替え可能である。どの組み合わせでも、意味的には大差はない。)
22. どうしても行かねばならない。「イカンナラン」を使う。(老人言葉)
* (「イカンナン」も使用されるが、これは主に中年以上の言葉であり、若い層には「イカント アカン」「イカント シャーナイ」などが使われている。)
- 23 「今日はどこへも行かずヤ」「今日は誰にも会ワズクジャ」の～ズ・～ズク(ヤ・ジャ・ダ)の用法について
* (「行かずヤ」「会ワズヤ」も聞かれるが、最近では若い層を中心に「イカヘンカッタ」「アワヘンカッタ」がよく使われている。)
24. こちらから行きもせず、向こうから来もしない。○コッチカラ イキモ セーヘンシ、ムコーカラ キーモ セーヘン。
25. その人の家に、明日も行くか行かないかわからない。○ソノ ヒトノ エーニ、アシタモ イッカ イカヘンカ ワカラヘン。
- II 存在・状態・判断の否定表現
26. これだけしか無い。○コッラケヨリ アラヘン。
* (「コレダケシカ アレヘン」の方が新しい言い方。)

27. 今年のように暑い年は無いねえ。 ○コトシホド アツイ トシワ ナイ ナー。
* (「アラヘン ナー」「アレヘン ナー」も使うが、表現性に大差はない。)
28. 今年のように暑い年は、ありはしない。 ○コトシホド アツイ トシワ {①ナイ ワー。②アラヘン ワー。}
* (述懐の文末詞「ワー」を使って意味を強める。)
29. (これまでに) 今年のように暑い年は無かったねえ。 ○コトシホド アツイ トシワ {①アラヘナダ ナー。〈古〉②ナカッタ ナー。〈新〉③シラン ナー。〈新〉}
30. 今年のように暑い年は、ありはしなかった。
* (28. 同様、「アラヘンナカッタ ワー。」などと、文末詞「ワー」で強める。)
31. 今年のように暑い年は、もう無いだろう。 ○コトシホド アツイ トシワ モー {①ナイヤロ。②モー アラ(レ)ヘンヤロ。}
32. 暑い夏なんか無ければいいのに。 ○アツイ ナツヤナンド {①ナケラ②ナケラナ} エーノニ。
* (上記はかなり古い言い方で、現在は「ナカッタラ」。)
33. 今日はあまり暑くない。 ○キョーワ アンマリ アツ ナイ。
* <「アツ」は「アツク」のウ音便のウの脱落したもの。>
34. 今日はあまり暑くはない。 ○キョーワ アンマリ アツーワ ナイ。
35. 今日はあまり暑くなかった。 ○キョーワ アンマリ アツ ナカッタ。
36. 今日はあまり暑くはなかった。 ○キョーワ アンマリ アツーワ ナカッタ。
37. 明日も暑くないだろう。 ○アシタモ アツ ナイヤロ。
38. 今日はあまり涼しくないねえ。 ○キョーワ アンマリ スズシ ナイ ナー。
* (昔、中町(近村)の人から「スズシューナイ」を聞いた。)
39. あまりにぎやかでない。 ○アンマリ ニーヤカヤ ナイ。
* (「ニーヤカ」は「ニンギャカ」とも発音される。以下同じ。)
40. あまりにぎやかではない。 ○アンマリ ニーヤカヤ ナイ。
41. あまりにぎやかでなかった。 ○アンマリ ニーヤカヤ ナカッタ。
42. あまりにぎやかではなかった。 ○アンマリ ニーヤカヤ ナカッタ。
43. もう以前のようににぎやかではなかろう。 ○モー ムカシミタイニ ニーヤカヤ ナイヤロ。
44. あれは花ではない。 ○アレワ (またはアラ) ハナヤ ナイ。
* (「ハナト チャウ」は新しい言い方。)

Ⅲ 特定の慣用句による否定(不可・禁止)表現

45. (そんなことでは)いくらやってもだめだ。(不可) ○ナンボ ヤッテモ {①アカン。②アカヘン。}

* (①②に表現性の差はない。)

46. あいつはだめなやつだ。(不可) ○アイツワ {①アカン②アカヘン} ヤッチャ。

47. つまらないこと (取るにたりないこと) を言うな。(不可) ○ショーモナイ コト
ト イワントキー。

* (「ショーモナイ」のかわりに「ロクデモナイ」(やや古い)、「ヤクタイモナイ」
(古い)「ダッチモナイ」(男言葉)も使われる。「イワントキー」、「イーナイ
ナー」は女言葉で、男は「ユー ナ」、「イー ナ」(やや柔らかい)を使う。)

48. (友人に) そんなところへ行ってはいけない。(禁止) ○ソнна トコ イタ
(またはイトラ) アブナイ デー。

* (設問を直訳すれば「イタ (イトラ) アカン」になる。しかし、この場合の「ア
カン」はかなり強い表現で、上から下への命令(制止)口調になる。したがって、
友人間では使えず、上記のような表現となる。(50.参照))

49. そんな所へは行カレン。(禁止)

* (「行カレン」は「行くことができない」(不可能)の意であり、「禁止」の場合
には使わない。)

50. そんな所へは行くな。(禁止) ○ソнна トコ イタ (またはイトラ) アカン。

* (上から下への命令(制止)表現で、緊急時に子供に注意する感じ。文末詞「デー」
を添えることによって、教え諭すニュアンスが出る。)

51. いたずらをするな。(禁止) ○ワルサ シタ アカン (またはイカン)。

* (「シー ナ」(柔らかい)、「スナ」(男言葉)もある。)

52. そんな所へ行くもんではない。○ソнна トコ イク モンヤ {①ナイ。②ナ
イ デー。}

53. 今日は暑くてたまらない。○キョーワ アツーテ シンボ デケヘン。

* (「アツーテ シャーナイ」、「アツーテ タマラン」(男言葉)とも言う。)

54. 雨がやむのを待っていてもしかたがない。○アメガ ヤムノン マットッテモ
{①シャーナイ。②ショガナイ。}

* (②の方が古い言い方。「マツラレヘン」という言い方もする。)

55. 遠くまで歩くのは楽ではない。○トーイ トコマデ アルイテイクノンワ ラッ
キャ ナイ。

* <当該地域では「ラッキヤ」のような促音化、拗音化傾向が際立っている。>

56. 遠くまで歩きたくない。○トーイ トコマデ アルキトミナイ (またはアルキト
ムナイ)。

* <「アルキト (-) ナイ」が新しい言い方。「~タクナイ」が「~トーナイ」と長
音化し、助詞の「モ」が加わることによって「~トーモナイ」となり、これが「~
トミナイ・トムナイ」と変化したものと考えられる。「~トミナイ (トムナイ)」

- は、「行キトミナイ」「シトミナイ」などの形で中・高年層に頻用されている。>
57. 心配しなくても大丈夫だ。()シンパイ セーデモ ベッチョナイ。
* (「センカテ エー」が新しい言い方。)

IV 否定の応答表現

58. 友達から電話で、「そちらは昨日雨が降ったか。」と聞かれた時の、「いや。降らなかつた。」()イヤ(またはイーヤ・イイヤ・インヤ)。フランダ(またはフランカッタ・フラヘンカッタ)。
59. 58の問いに対して、「いや。降らなかつた。」(強い否定)
* (「イーヤ。」と「イー」の部分を強めるか、イヤイヤと繰り返す。)
60. 58の問いに対して、「いいえ。降りませんでした。」(丁寧な否定) ○イーエー。
フラシマセナンダデス ヨー。
* (「エー」の部分を強めて表現する。)
61. 「今日、そちらは雨は降らなかつたか。」に対する応答(否定問いかけに対する応答)として、
①降った場合 ()イヤ(またはイーヤ)。フック デー。
②降らなかつた場合 ()へー。フランダ ワー。
62. お客さんから、「今日はほんとうにご親切にお世話いただきまして。ありがとうございました。」という挨拶に対する、「どういたしまして。」○イーエー。メツモナイ。()イーエー。ドーイタシマシテ。

V 不可能の表現

63. そんなことは私はできない。○ソナ コト ウチラ デキヒン(またはデケヘン)。
64. (暗いので新聞を)読むことができない。(状況) ○ヨマレヘン。○ヨメヘン。
65. (まだ小学生だから新聞を)読むことができない。(能力) ○ヨー ヨマヘン。
66. こんなはでな服を着ては、街へ出られない。(心理的状況) ○コナ ハデナ
フク キテ マチナンカ {①ヨー デン ワー。②デラレヘン。}
67. この茸は食べられない。○コノ キノコワ タベラレヘン。
* (男性はクエン(老人)、クワレヘン(中年以下)を使う。)
68. 忙しくて昼飯も食べることができない。○イソガシーテ ヒルゴハンモ タベラレヘン。

VI 反語・反発の強調表現

69. そんなこと、おれが知るものか。○ソナ コト {①ウチガ シットツ カイナー。②ソナ コト ウチ シラン ワー。}

70. そんな所へ誰が行くものか。ソナ トコエ ダレガ イッ カイナ。
* (男性は「ダレガ イク カイ(カエ)」を使うが、これはかなり語気荒く聞こえる。)
71. そんな所へなんで行くか。(行くものか。) ○ソナ トコエ ナンデ イカン
ナン ネヤ。
* (「ナンデ イカンナン ネン。」は男性言葉で語気が荒い。)
72. なんで恥ずかしいものか。(なんで恥ずかしからうか。) ○ナンデ ハズカシー
ネンナ。
* (「ナンデ ハズカシー ネン。」は男性言葉。)
73. 行かないでおるものか。(行くとも!) ○イカイデ カイナー。(男性は「イカ
イデ カイ。」)
74. それがお前にやれるか。() ソレガ アンタニ ヤレツ カー。
* (男性は「オマエニ ヤレツ コー。」)
75. そんなにいやならシテイラン。()ソナイ イヤヤッタラ {①シテイラン。②シ
テラン。③シテラン ワー。④シテラン ワイ。(男性言葉)}

Ⅶ 特定の副詞の関わる否定表現(付. 否定形式の見られる特定副詞)

76. 暑くて仕事が少しもはかどらない。(少しも~ない) ○アツーテ チョットモ
ハカ イカヘン。
* (「チョットモ ススマヘン」が新しい。)
77. 仕事がぜんぜんできていない。(ぜんぜん~ない) ○シゴトガ デンデン デケ
トラヘン。
* <「デンデン」は z→d の音変化。当該地域にはゾーキン→ドーキン、カザリ→カ
ダリなど、この現象は広く見られる。>
78. 雨がいっこうに降らない。(いっこうに~ない) ○アメガ ドダイ フラヘン。
* (「ドダイ」は「チョロットモ」とともに古い言い方。古老に残る。「ヒトツツモ」
「ゼンゼン(デンデン)」が一般的である。)
79. 今年も雨があまり降らない。(あまり~ない) ○コトシモ アメガ アンマリ
フラヘン。
80. 芋が(予想外に)たくさんとれた。 ○イモガ オモイガケノ ヨーケ トレタ。
* <「~ナク」が「ノー」または「ノ」に変化する形は、「ノー ナル」「キタノナッ
タ」など、しばしば見られる。>

Ⅷ その他の否定形式の関わる諸表現

81. わざわざ行かなくてもいいではないか。 ○ワザワザ イカイデモ エーヤナイ カ。
* (「エーノン チャウ カー。」「エー ヤン。」「エー ヤンカー。」)などは

新しい言い方。「イカイデモ」は「イカンデモ」の古い形。）

82. わざわざ行かなくてもいいのではないか。 ○ワザワザ イカイデモ エーノント
チャウ カー。
83. わざわざ行かなくてもいいかもしれない。 ○ワザワザ イカイデモ エーカモ
シレヘン。
84. いっしょに行かないか。 ()イッショニ {①イカヘン カー。②イコ カー。}
85. これを持ってくれないか。 ()コレ モッテ ナ。(友人に対して) / ②モッテ
クレヘン カ。(下に対して) / ③モッター ナ。(女性の古い言い方)
86. これを持ってくれませんか。 ()モッテクレテナイ カ。 / ○モッテクレテ カ。
87. これを持って下さいませんか。 ()モッテイタダケマセン カ。
* (古い言い方として「モットクンナハレ ナー」がある。)
88. 早く行かないと。 (～行けば) (勧奨) ○ハヨ {①イカナ。②イカント。③イ
カン カイナ。}
* (③が一番強い表現。)

Ⅲ. 総括(まとめ)

以上の調査結果をもとに、当該地域における否定の表現の実態をまとめてみると、次のような特徴が見いだされる。

1. 否定の助動詞として「ン」「ヘン」が併用されており、ごく稀に「マイ」(打ち消し推量)も用いられる。「ナイ」は形容詞として用いられ、助動詞として用いられる場合は、共通語的用法である。
2. これら三者を量的に比較してみると、「ヘン」の使用頻度が最も高く、次いで「ン」「ナイ」ということになる。
3. 「ン」は当該地域を含む西日本を中心に古くから栄えた形であるが、近年「ヘン」の盛行によって使用の範囲がかなり狭められている。今回の調査においても「男性言葉」「古い言い方」と指摘された表現に「ン」が多く使用されてはいるが、女性である話者の口からはそれらに代わって「ヘン」を用いた表現が数多く聞かれた。
4. 「ン」の使用範囲が狭められたとはいえ、次のような表現では「ン」は盛んに使用されており、「ン」と「ヘン」のせめぎ合いは、その表現性の微妙な差とあいまって、まだまだ続きそうである。
 - (1)「アカン」や「シラン」「カナン」(かなわない)などのような慣用表現。
 - (2)現在では「ン」でしか表し得ない表現。例えば「～ントコ」(3. など)・「～ント」(18. など)・「～ンデモ」(19.)など。
 - (3)「ン」の代わりに「ヘン」を使うと他人事になってしまい、「ン」しか使えない表現。例えば「ヨー～ン」(65.)・「シラン」(69.)など。

また、「ン」の仮定形「ナ」（「ネバ」から転じたもの）も「イカナ ショガナイ」（21. など）のような形で、年層・性別を越えて頻用されており、息の長い表現として残るものと考えられる。

5. 現在、最もよく用いられている「ヘン」は、頻用の結果、次のような音韻同化の現象が著しく見られる。

(1) 順行同化 キーヒン（来ない）、ミーヒン（見ない）、シーヒン（しない）、オチヒン（落ちない）、デキヒン（できない）、ツージヒン（通じない）

() 動詞語尾がイ段音になる場合にこの変化が見られる。

(2) 逆行同化 アレヘン（ない）、イケヘン（行かない）、ヤレヘン（やらない）、ワカレヘン（わからない）、ユエヘン（言わない）、オレヘン（いない）

() 動詞語尾がア段音になる場合にこの変化が見られる。

6. 例えば「キヤヘン」（13. 14. 15. ）は、「キワセン>キヤセン>キヤヘン>キーヒン」という変化の過程があったものと考えられるが、当該地域では「キヤヘン」「コヤヘン」「キエヘン」「キーヒン」「コーヘン」などのバラエティーが見られる。

7. 助動詞としての「ナイ」の用法は共通語形以外には見られないが、「イカヘナンダ」「イカナンダ」（6. ）、「フラナンダ」（58. ）の「ナンダ」のような転化形（「ナカッタ」の転）は盛んに用いられている。「イカナンダラ」（20. ）の「ナンダラ」（「ナンダ」の仮定形）もよく用いられる。

8. 形容詞としての「ナイ」は、「ニーヤカヤ ナイ」（40. ）「ハナヤ ナイ」（44. ）などのように多くの表現に見られる。「ベッコヨナイ」（別状がない）、「シャー ナイ」「ショガナイ」（仕様ががない）、「ダッチモナイ」（埒もない）などの慣用語句の「ナイ」も、もとは形容詞としての用法である。

9. 「テヤ敬語」（5. ）に用いられる「ナイ」も形容詞としての用法である。したがって、例えば「行ッテ（ヤ）ナイ」とあれば「いらしゃいません（行かれません）」と敬意を含んだ表現となる。「ナイ」の代わりに助動詞の「ヘン」を用いると「行ッテヘン」となり、この場合には「（まだ）行ってない」という行動の未完ないしは未経験を表すことになる。

10. 以上述べた「ヘン」「ン」「ナイ」以外にも、「～（ト）チャウ」（44. ）や「～ヤン」（ジャナイ）、「～ヤンカ」（ジャナイカ）などが否定表現として、比較的若い層を中心に用いられている。

（くろさきよしあき 園田学園女子大学）